

未成年のお子さんがある 患者さんへの支援活動 をおこなっています

対象

がんの患者さんご家族

お子さんの様子について伺いながら、
ご家族にとってよりよいタイミングでの
伝え方や対応と一緒に考えます。

お子さん・お孫さん (0歳～18歳)

お子さんの年齢に応じた遊びやことばを
通して不安や疑問を受けとめ、
少しでも気持ちがリラックスするように
お手伝いします。



いつでもご相談ください



Parents with cancer and Children Support
-Professionals and associates-(PC-Panda)

お問い合わせ・面談予約

個別面談は、対面または
オンラインで行います。



メールでの個別面談は承っておりません。

国立研究開発法人
国立がん研究センター中央病院

未成年の お子さんがある 患者さん・ご家族の みなさまへ

気になることがありましたら
ご相談ください



詳しくは、担当医、看護師、または
患者サポートセンター(病院棟8階)にお尋ねください。
ホームページからもご確認いただけます。

子どもに関する 相談内容

病気の伝え方

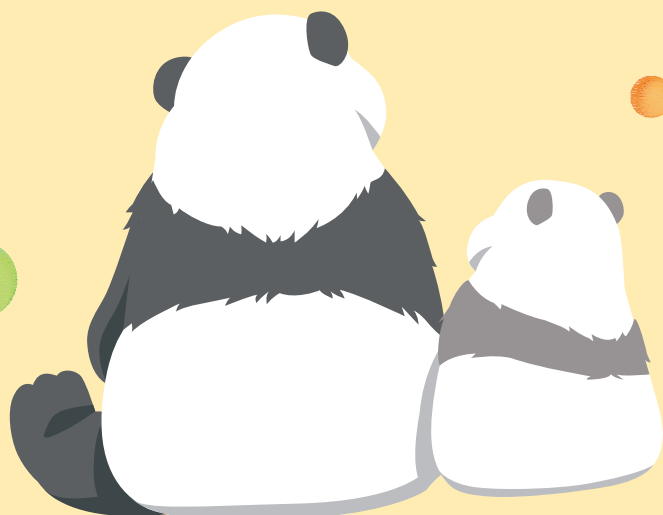
「どんなタイミングで、どうやって伝えるか。ちゃんと理解できるか」「治るの?って聞かれたら、どう答えればいいか」 など

子どもの反応

「子どもの不安そうな様子、落ち着きがない様子が気になる」「きょうだいで反応が違い、心配」 など

その他

「病気のことは伝えたくない」「子どもにショックを与えたくない」「がん=死と思ってないか心配」 など



子どもに関する気がかりの声 Q & A

子どもにショックを与えると 思うから話さない方がいいのでは?

子どもは変化を敏感に気づくことがあります。過剰な不安を抱えないために、現在起きていることを伝えると同時に、お子さんには、これまで通りの日常を過ごしてほしいことを伝えることが大切です。伝え方の工夫やどんな言葉を用いるかなど一緒に考えます。ご相談ください。

子どもに話したら、周囲に病名を 伝えてしまうのではないかと?

まず、「大事な話」であることをお子さんに伝え、次に、病気のことを話題にしてよい場所と話してよい相手を明確に、伝える必要があります。「親友には伝えたい」などの気持ちをお子さんが語る場合もありますので、その時どきに備えた対応を考える必要があります。ご相談ください。

何かを伝えるべき タイミングはいつか?

一度にすべてを伝える必要はありません。目に見える変化、親子で行っている習慣（お風呂や送迎など）の変化に合わせ、親御さんが言える範囲のことをまずはお子さんと共有してはいかがでしょうか。子どもの年齢に合わせた言い回しでお困りのさいには、ご相談ください。

どんな風に病気のことを子どもに 切り出せばいいのでしょうか?

お子さんがくつろげる時間と場所で「大事な話をしたい?」と伝え、お子さんが気づく変化を挙げてその理由を話し始めるのもひとつの方法です。また、「心配かけてごめんね」より、「心配してくれてありがとう」の気持ちを伝えてはいかがですか。もしも、親御さんが不安な場合、事前に具体的な内容を一緒に考えます。病院であれば、ご希望次第で医療スタッフや子どもの専門家が同席することも可能です。ご相談ください。